

8980

第一一八號



朝鮮密第三二號

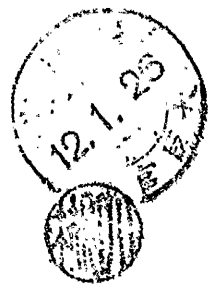
密情報

共産大學卒業者ノ軍事スパイ事件
檢舉ニ關スル件

昭和十二年一月二十二日朝鮮軍參謀長 久納誠一

陸軍次官 梅津美治郎殿

首題ノ件ニ關シ朝鮮總督府警務局長ヨリ別冊ノ通り通報アリシ所右ハ
鮮内防諜上警戒ヲ要スヘキ幾多ノ教訓ヲ有シ居ルモノト思料セララル
ニツキ參考ノ爲送付ス



35

説明ターゲット

次の原稿

不鮮明あり

| 0369 ~ 1059

4年 8月7日

主務者又は

撮影立会者

加部東保夫



0369



最近朝鮮ニ於ケル共產大學
卒業者ノ這事ニハイ檢舉事件

昭和十二年一月二十二日
朝鮮軍司令部

本篇ハ最近威鏡南道ニ於テ莫斯科東方勞力者共產大學卒業者三名カ相前後シテ解内ニ派遣サレ赤化組織ト共ニ軍事諜報蒐集ノ使命ヲ帶ヒ潛入策動中ヲ檢舉サレタルモノナリ

特ニ注目スヘキハ之等主義者カ反戰運動ノ同志獲得ト積極的ナル諜報工作ニ任シアル點ニシテ其ノ訓練、教養、信念ノ程度等ニ於テ既往諜者トハ全く趣ヲ異ニスルモノアリ

更ニ蘇聯ハ極東方面ニ於ケル時局ノ逼迫ニ對處スヘク昭和八年以來東方勞力^者共產大學ニ本科及速成科ノ各科ヲ通シテ軍事學ノ一課ヲ新設シ軍事及諜報學ノ教養訓練ノ積極化ヲ圖ル等注目スヘキモノアルヲ以テ參考迄印刷配付ス

共產大學卒業者ノ軍事スパイ事件取調狀況

一、李翰彬、李遜鎬兩名ノ取調狀況

ノ關係者ノ本籍別名氏年齢

(一) 本籍 咸鏡南道新興郡加平面豐上里 三一九

露名 ホーエン 李 翰 彬 (當三十三年)

(二) 本籍 咸鏡南道新興郡加平面陵里 二四三

露名 ベットナ 李 遜 (當四十年)

(三) 本籍 咸鏡南道新興郡加平面陵里 一一八

露名 イヨイミン 李 進 鎬 (當四十一年)

2. 入籍ノ狀況

(1)

李翰彬、李遜鏞、李進鏞ノ三名ハ何レモ大正十五年頃ヨリ郷里ニ於テ思想團體ニ關係シ左翼運動ニ没頭シツツアリシカ將來革命闘士タルニハ共產大學ニ入學シ根本的ニ共產主義ヲ究ムルノ外ナシト決意シ三名協議ノ上入露ノ機ヲ窺ヒ居リタルカ李翰彬ハ昭和三年八月當時咸興ニ於テ左翼戰線ニ活動シ居リタル朴然コト朴康協ト面識ヲ得タルヲ以テ同人ニ對シ共產大學入學斡旋方懇請シタル處鬪爭經歷乏シキ故ヲ以テ拒絕サレタル爲メ更ニ咸興青年同盟幹部方致規ヲ通シ第一次共產黨事件關係者應七コト朴永鳳ニ面接懇請シタルカ朴ハ直チニ入學斡旋ハ不可能ナルモ革命事業ニ熱誠活動セハ後日有力ナル機關ニ諮リ希望ヲ達成セシムヘシト告ケタルカ其後間モナク朴カ檢舉サレタル爲目的ヲ達セス然ルニ彼等ハ依

然共大入學希望ヲ断念セス假へ有力ナル紹介者無シト雖モ蘇聯ニ
 潜入シ其ノ路ヲ辿レハ素志ノ貫徹又難事ニ非ラスト思惟シ三名協
 議ノ上遂ニ昭和四年五月下旬各々旅費ヲ調達相前後シテ密ニ郷里
 ヲ出奔六月下旬咸北會寧ニ落ち合ヒ雄基ニ赴キ蘇聯行密航船ヲ物
 色シタルモ目的ヲ達セス雄基ヨリ慶興ニ出テ同地渡船場ヨリ渡瀋
 夜陰ニ乗シ露領ニ越境シタルモ直チニゲベウニ發見逮捕セラレタ
 ルカ何等ノ暗號紹介所持セサル爲メ即時滿洲國領内ニ放逐セラ
 レタルカ執拗ナル彼等ハ再度入露ヲ決意シ一時琿春地方ニ到リテ
 勞動ニ従事同年七月再ヒ露領ニ越境首尾ヨク浦鹽ニ潛行セリ浦鹽
 へ到着スルヤ在郷當時ヨリ豫テ崇拜シ居タル咸鏡南道出身李東輝
 ヲ新韓村ニ訪問シタルカ偶々同人旅行不在ノ爲面會シ得ス、同人

(2)

ノ長男及女婿金鼎夏ニ對シ共大入學斡旋方依頼シタル處共大入學ハ鮮内ニ於ケル正當路線ノ有力者ヨリ正式紹介狀ヲ得サレハ不可能ナリトテ一應歸鮮方^途送サレタルモ萬難ヲ排シ入露セルコトトテ再ヒ越境ノ危険ヲ欲セストテ爾後^來浦鹽附近ヲ轉々勞働ニ從事シ三名ニテ五六百留ノ蓄財ヲ得タルヲ以テ之ヲ旅島トシ昭和七年一月一日浦鹽驛ヨリ乘車鐵路同月中旬莫斯科ニ到着セリ

3. 東方勞力者共産大學入學

莫斯科ニ到着スルヤ直チニ職業紹介所ニ出頭就職斡旋ヲ請ヒタル處李翰彬、李遜鎬ノ兩名ハ飛行機製作工場ニ李進鎬ハ鐵工場ニ夫々紹介サレ勞働中同年四月頃ヨリ同地朝鮮人俱樂部ニ出入シ同俱樂部ニ於テ咸南、咸興出身洪濤コト洪震義（露名マルチエホ）ト

面識ヲ得タルヲ以テ同人ニ豫テ熱望セル共大入學斡旋方ヲ懇請シタル處洪ハ直チニ快諾、入學手續其他ノ指示ヲ受ケヨミシテルニ願書ヲ提出シタルカ同年九月十三日共大學内、朝鮮部ヨリ呼出ヲ受ケ出頭シタル處圖ラスモ會テ浦鹽新韓村ニテ面接セル李東輝女婿金鼎夏、其ノ席ニ在リ、同人ノ通譯ニテ一露人ヨリ鮮内ニ於ケル鬭争經歷等ノ訊問ヲ受ケタル結果不許可ノ言渡アリ一時落膽シタルカ通譯金鼎夏ニ對シ極力入學許容方歎願シタルニ其熱意ヲ認メラレ遂ニ昭和七年十一月初旬共大速成科ノ入學ヲ許サレ李翰彬ハ亦『エシ李進鎬ハペツトナ』李進鎬ハ予ヨイミント夫々露名ヲ與ヘラレタリ

共産大學入學後ノ狀況

昭和七年十一月本名等カ入學セル當時ノ速成科同期生ハ

カビツーリン 魏 基 勳

ハンチヨシウ 韓 天 宇

キムチユンソン 金 忠 孫

ム ー ン (鮮名不詳)

ヤーヨブ ()

キーギ ()

チヒンミン ()

ワンソンミン ()

等ナリシカ本名等ハ半途入學ヲ許サレタル關係ト更ニ露語不充分
ナリシ爲翌昭和八年二月速成科ニ新設セラレタル準備科ニ編入セ

ラレ當時新ニ入籍セル朝鮮學生

リガ イ (鮮名不詳)

チヤハンセン ()

パ ー ヨン ()

チヤ イル ()

等ト共ニ昭和八年九月迄準備教育ヲ受ケ同月再ヒ速成科ニ進級シタルカ此時速成科ニ在籍セル朝鮮人學生ハ

リガ イ

チヤハンセン

パ ー ヨン

チヤ イル

アフマトフ

韓ウエラー(女)

等ニシテ又準備科ニ入所セルモノハ

金 日 洙

朴 某

ノ兩名アリ本科卒業生トシテハ

フ バ ン (現在入館中ノ開込アリ嚴探中)

ヂユー ミン 金 珠 極 (洪原農組關係ニテ會寧署ニ於テ取押へ咸南ニ引渡ヲ受ケタル者)

トー 四 フ

等ナリシカ頭書三名中李進鎬ハ昭和九年四月學業成績不良ニシテ
將來ノ見込ミナシトシ中途退學ヲ命セラレ某工場職工トシテ送ラ

レタルカ李翰彬、李遊鎬ノ兩名ハ昭和九年五月下旬無事速成科ヲ卒業シタルカ準備科速成科ニ於ケル當時ノ教官及教授科目ヲ舉ク
レハ

(一) 教官

(1) 準備科

金 シンボク (鮮人)

氏名不詳 ()

露人二名 (何レモ女)

(2) 速成科

韓 東 翊 (鮮人)

崔 成 宇 ()

(5)

朴ニキホリ

(ノ)

露人一名

(女)

赤軍大佐

(ハ) 朝鮮民族部

崔成宇

(鮮人)

金丹治

(ノ)

金鼎夏

(李東輝女婿)

朴ニキホリ

韓東翊

金アパナシ

金信福

0381

(一) 教科目

(1) 準備科

數學

自然化學

共產黨史

政治經濟

經濟地理

(2) 速成科

ロシアや共產黨史

コミンテルン史

政治經濟學

(6)

レニニン主義

民族問題

殖民地問題

農民問題

帝國主義論

プロレタリア獨裁

組織問題

自國問題 (朝鮮)

軍事學 一九三三年(昭和八年)ノ新設ニ係ルモノニシ

テ共大各科ニ併置セラレタリト

唯物辯證法

等ニシテ就中軍事學ハ一九三二年九月及十一月ノ第十二第十三回
コミンテルン、ブレナム會議ノ決議ニ基ク帝國主義戰爭急迫ニ伴
フ共產主義者ノ任務トシテ一九三三年二月共產大學各科ヲ通シ新
設セラレタル科目ニシテ速成科ニ於テハ赤軍大佐專ラ教育ノ任ニ
當リ

「滿洲專變勃發當時ノ共產主義者ハ相當活潑ナル活動ヲ爲シタル
モ結局軍事上ノ智識乏シカリシ爲メ豫期ノ效果ヲ收メ得サリシヲ
以テ將來ノ共產主義者ハ須ク軍事學ヲ修メ一朝有事ニ際シ敵國軍
隊ヲ敗戦ニ導クヘク常ニ反戦組織ノ外豫メ各國ニ於ケル軍ノ編成
配置、兵器軍需品ノ製造能力、輸送配備關係等詳細調査シ平素軍
隊ノ赤化ニ努メ開戦ノ場合ハ反戦組織ヲ通シテ大衆動員ヲ行ヒ軍

(7)

需工場運輸労働者ヲ煽動シテストライキヲ敢行セシムル等專ラ反
 戦工作ヲ強化シテ目的達成ニ努ムヘシト強調シ

- (一) 各國軍隊ノ編成狀況
- (二) 左記各種兵器ノ種類性能
 - (イ) 飛行機
 - (ロ) 戦車
 - (ハ) 装甲自動車
 - (ニ) 毒瓦斯
 - (ホ) 各種銃砲
 - (ヘ) 戦時ニ於ケル通信機關
- (三) 軍需品關係

(イ) 軍需品製造ト各種民間工場ノ關係

(ロ) 軍需品ト列車船舶自動車等ノ輸送關係

(ハ) 戦時ニ於ケル軍需品ノ重要性

(四) 軍隊ノ赤化工作ノ重要性

「軍隊赤化ハ反戦運動ノ重要ナルモノナルモ現下朝鮮民族ノ如キ兵役關係ナキモノハ民族ヲシテ赤化工作ヲ行ヒ難キヲ以テ出來得ル限り軍隊ニ接近之ヲ獲得スル外或ハ適齡前ノ日本青年ヲ獲得シテ反軍思想ヲ鼓吹スヘシ

(五) 革命時ニ於ケル各機關ノ組織

「革命蜂起ノ諸準備成リタル際ハ革命軍事委員會ヲ組織シ赤色軍人ヲ第一線ニ立テテ赤衛軍隊ヲ組織シ一面バルチザン組

(8)

織ヲ完成シテ革命的威力ヲ發揮ブルジヨア政權ヲ倒シテブレタリア獨裁政權ノ樹立ニ努ムヘシ

(六) 朝鮮内ニ於ケル軍需品製造並ニ交通運輸、通信機關ノ重要性

本項ハ其ノ地理的關係ヨリ日蘇開戦ノ場合内地ノ夫レニ比シ最モ重要性ニ富メルヲ以テ一旦有事ニ備ヘ

(イ) 軍需品製造工場内ノ革命組織ヲ通シテ労働者ノセネストヲ敢行製造能力ノ妨害ヲ試ムルコト

(ロ) 埠頭、停車場、其ノ他ノ労働者ヲ動員シテ軍需品輸送ノ妨害ヲ試ムルコト

軍隊輸送ニ對スル妨害トシテ鐵道ノ爆破ヲ敢行スルコト

(二) 豫メ通信部門ニ赤色組織ヲ完成シ通信ノ妨害ヲ試ムル外
事態急迫ノ場合ハ電信電話線ヲ切斷通信機能ノ破壊ヲ決行
スルコト

等ノ特別教育ヲ受ケタリ

入鮮ト其ノ使命

A 李 翰 彬

本名ハ昭和九年五月李遜鎬ト共ニ共產大學速成科ヲ卒業シ同年
夏夕リミヤ半島ビードン休養所及莫斯科市外、ウゼイルナヤ休
養所等ニ於テ待機休養中同年十月初旬共大秘密部ノ召喚ニ依リ
出頭、朝鮮民族部責任金丹治立會ノ下ニコミンテルン幹部露人

ヨリ

(9)

「汝ハ既ニ共大ヲ卒業シタルヲ以テ近ク入鮮朝鮮革命ノ爲メ活動スヘシ詳細ナル使命ハ浦鹽オコオムニ於テ命令スヘキニ付其レニ基キ活動シ其狀況ハ入鮮後獲得シタル分子精選セル共大入學希望者ヲシテ提報スヘシ獲得分子ノ入露ハホーエン派遣ノ暗號ヲ使用スヘシ」トノ命ヲ受ケ

一、浦鹽オコオム宛ノ密書一通

共黨斯科 浦鹽間切符

一、露貨 百留

一、米貨 二十五弗

一、食糧 必要數

ノ交附ヲ受ケテ出發十月中旬浦驛ニ到着直チニオコオムニ出頭

シタル處同所ニ於テ崔成宇（當時浦鹽ニ在リタリ）ヲ立會トシ
一露人ヨリ

「汝ノ本籍地咸南ハ興南ニ於ケル軍事工場（朝窪ヲ指ス）ノ外
新興、長津ニ極メテ強大ナル電源アリ軍事上最モ重要地點ナル
モ本籍地ニ於ケル活動ハ頗ル危険ヲ伴フ虞レアルヲ以テ使命地
ヲ平壤トスヘシ
平壤又軍事上重要地點ナルヲ以テ使命地潛入ノ上ハ專ラ軍需
品工場ヲ中心トシテ赤色労働組合ノ組織工作ニ努力シ之ト併行
シテ

(一) 平壤飛行隊ニ關シ

(1) 飛行場ノ狀況

(2) 飛行機ノ種類台數

- (イ) 飛行將校及兵員數
- (ニ) 飛行將校ノ技術
- (三) 對蘇開戰ノ準備工作狀況
- (四) 同地軍隊ノ動向
- (五) 兵器配備ノ狀況 其種類數量
- (六) 軍需品製造ノ種類及各工場ノ內容
- (七) 平壤地方ニ於ケル反軍思想ノ有無
- (八) 等ヲ調査、報告ヲ齎スト共ニ機會アル毎ニ軍需品製造同輸送軍隊兵器輸送ノ妨害ヲ試ミ常ニ革命的反戰組織ヲ通シテ勇敢ニ活動スヘシトテ連絡方法トシテ
- (九) 連絡ニ關シテハ莫斯科出發ニ際シ金丹治ヨリ授ケラレタル

方法ニ依リ夫レヲ嚴守スルト共ニ使命地ニ於テハ崔守日ナル
偽名ヲ以テ活動スヘシ

(二) 無事使命地ニ潛入シタル場合ハ
浦鹽レニンスカヤ ノル七

リカイ

宛發信人予同イナル偽名ニテ「此方へ來テ商賣モ都合良ク大
分儲カッタ」トノ暗號通信ヲ發スヘシ

等ノ指令ヲ受ケ浦鹽モヨフ間ノ乗船券、鮮服一着及豫テ莫斯科
ニ於テ受領セル米貨二十五弗ヲ日貨ニ兩替ヘシ更ニ朝鮮銀行兌
換十圓券十二枚一圓券三枚合計百二十三圓ヲ受領浦鹽出發入鮮
セリ

B 李 遜 鎬

本名ハ李翰彬ト共ニ共大卒業後夕リミヤ半島並莫斯科市外ワセ
 イルナヤ林養所ニ於テ靜養中昭和九年十月初旬李翰彬ト別個ニ
 莫斯科共產大學秘密部ニ出頭ヲ命セラレコミンテルン本部ニ於
 テ朝鮮部責任金丹治立會ノ下ニ一露人ヨリ「コミンテルンニ於
 テハ今回汝ヲ密ニ入鮮セシメ鮮内ニ於テ赤勞、赤農組織工作ニ
 從事セシムルコトニ決定セルカ現下ノ國際情勢ハ一九三六年ノ
 危機ヲ控ヘ日蘇兩國關係誠ニ急迫化シツツアルヲ以テ從來ノ任
 務タル組織工作以外之ト併行的ニ

- (一) 朝鮮内ニ於ケル日本軍部ノ動向
- (二) 對蘇戰爭準備ノ模様

- (三) 軍隊又ハ飛行隊ノ駐屯地ノ狀況
 - (四) 軍需品製造工場又ハ發電所ノ狀況
- 等總有軍事上秘密且ツ重要事項ノ調査ヲナシテ之ヲ報告スルト
共ニ反戰組織ヲ強化シテ軍隊軍需品ノ輸送妨害通信機關ノ破壊
妨害等果敢ナル鬪争ヲ展開スヘシトノ使命ヲ授ケラレ
- 一、莫斯科、浦鹽間ノ切符
 - 一、露貨 二百八十留
 - 一、米貨 三十弗
 - 一、鮮服 一着
 - 一、食糧 若干
 - 一、浦驛才司才ム宛ノ書信一通

6.

入鮮後ノ活動狀況

(一) 李翰彬

交付ヲ受ケ活動地帯ハ身邊ノ危^クヲ避クヘク李翰彬同様特ニ平壤ト指定サレ莫斯科出發浦鹽ニ到着、ハス驛頭一露人外支那人一名ノ出迎ヲ受ケ之ニ伴ハレテ才^コ才^ムニ連行サレ同所ニ於テ李翰彬ト略同様ノ使命ヲ授ケ米^貨及露^貨ヲ取上ケテ日^貨百二十八圓ヲ交附サレ^ケ、^ペウ護送ノ下ニ^ボセツトニ連行セラレ同地ニ於テ鮮服ニ着替ヘ夜陰ニ乘シ小舟ニテ咸北西水羅附近土幕洞ニ入鮮セリ

本名ハ昭和九年十月下旬浦鹽出發煙秋ヲ經テ夜陰ニ乘シ咸北、慶興郡土里對岸ヨリ小舟ニテ渡船越境入鮮雄基、羅津ヲ經テ鐵

路一先ヲ與ニ潛入當地ニ於テ平壤進出ノ準備ヲ整ヘ同年十一
 月中旬咸興出發京城ヲ經テ平壤ニ赴キ府内一信旅館ニ投宿シテ
 軍需品製造工場ニ就職スヘク奔走中一夜偶々同宿ノ者ヨリ所持
 金ヲ窃取セラレ入鮮ノ際交附セラレタル運動資金ヲ失ヒタル上
 就職又意ノ如クナラサルヲ以テ一應歸郷運動資金ヲ調達ノ上再
 ヒ平壤ニ進出スヘク同月下旬本籍地ニ歸來セリ（ト自供セルモ
 此ノ點未タ追及ノ余地有リ）
 本籍地歸來後自宅ニ潜伏シ實兄及妻等ヲ説得シテ金六十五圓ヲ
 得タルヲ以テ一先ツ京城ニ進出ヲ志シ當時京城ニ居住中ノ同郷
 人前期共大同期生李進鎬ノ實兄李廷鎬ヲ頼リ上城シ同人ニ情ヲ
 告ケテ職業斡旋方ヲ依頼シ兩名ニテ就職口ヲ物色シタルモ目的

ヲ遂セス無爲徒食中其ノ間浦鹽リカイ安無事入鮮セル旨ノ暗號
 通信ヲ發シ引續キ就職運動ニ努メタルモ依然意ノ如クナラス斯
 ル中運動資金ヲ費消スルニ至リタルヲ以テ昭和十年一月再ヒ本
 籍地ニ歸リ自己名義ノ畑ヲ賣却シテ運動資金ヲ調達スヘク奔走
 中同月下旬頃圖ラヌモ前記李遜鏞ト邂逅スルニ及ヒ爾來後段記
 載ノ如ク兩名協力ノ上活動スルニ至レリ

(二) 李遜鏞

本名ハ前記ノ如ク李翰彬トハ全然別個ノ行動ヲ指示セラレ咸北
 西水維附近土幕洞ヨリ雄基清津ヲ經テ鐵路南下途中咸興、京城
 ニ各一泊シ昭和九年十二月末目的地タル平壤ニ到着シタルカ土
 地不案内ノ爲メ軍需品製造工場ニ潛入スル能ハスシテ一時大同

江堤防工事ニ就勞シタルモ寒氣甚クシキ爲メ勞働ニ堪ヘズ仍テ
 結氷期間中本籍地ニ潜伏解期ヲ俟ツテ再ヒ平壤ニ進出活動スヘ
 ク決意シ昭和十年一月頃本籍地ニ歸來シタルカ期セスシテ前記
 李翰彬ト邂逅スルニ至レリ（ト供述スルモ平壤ニ於ケル行動追
 及ノ余地ヨリ）

(三) 兩名邂逅後ノ活動狀況

前記ノ通り李翰彬、李邁鏡ノ兩名ハ莫斯科出發以來偶然郷里ニ
 於テ初メテ會見シタルヲ以テ各々共大卒業入鮮後ノ活動狀況ヲ
 報告シタルカ何レモ其效果擧ラサリシヲ遺憾トシ今後ハ協力ノ
 上使命遂行ニ邁進スヘク申合セタルモ當分間ハ行動ヲ慎シミ時
 機ヲ見テ果敢ナル行動ヲ開始スヘク協議ヲ遂ケ

(1) 李遊鎬ハ本籍地ニ於テ自己ノ前歴曝露ヲ慮レ行動ヲ慎シ、アリシカ昭和十年五月頃ニ至リ徐々ニ行動ヲ開始シ差シ當リ興南ニ數回潜入シテ工場地帯ノ調査ヲ爲シ、或ハ長津江水電々線架設工事ニ就勞スル傍ラ發電送電ノ狀況調査ヲ行ヒ一方同年四月頃ヨリ居里青年金斗建、金龍石、朴壽福等ヲ獲得シテ將來ノ革命闘士タラシムヘク屢々自宅ニ招致シテ共產主義ノ教養訓練ニ努メタル結果相當意識水準昂揚セルヲ以テ豫テコミンテルンノ使命ニ基キ之等ヲ共產大學ニ入學セシメ入露ニ際シ自己カ探查蒐集セル前記軍事上重要ナリト認ムル事項ヲ報告セシムヘク決意シ三名ニ對シ共產大學入學方勸誘シタル處何レモ快諾セルカ前記金斗建ノミハ家庭ノ事情ニ因リ今

直子ニ出發不可能ナル旨述ヘタルヲ以テ不取敢金龍石、朴壽福ノ兩名ヲ入露セシムルコトトシ兩名ニ對シ

(イ) 入露方法トシテ

滿洲ヨリ露領ニ越境セハ直子ニダヘウニ發見逮捕セラルヘキニ付實際兩手ヲ舉ケテ近附キペトナノ指令ニ基キ浦鹽ニ赴クモノナリト述ヘ浦鹽ニ進行ヲ求メ浦鹽ニ到着セハ在莫斯科崔成宇ニ要件アリト陳述莫斯科送致ヲ懇請シ同地ニ到ラハ崔成宇ニ會見共大入學幹旋ヲ依頼スルコト

(ロ) 報告關係

浦鹽ニ於テ國際黨極東部ニ於テ取調ヘヲ受クル際又ハ崔成宇ニ會見シタル際ペトナノ報告ナリト前提シ

一、李遼鎬ハ目下長津江水電送電線架設工事ニ就勞シツツ革命的赤色農民勞動組織ニ努メツツアリ

二、軍事施設トシテ日本軍部ニ於テハ新興水電貯池堰堤防備トシテ高射砲ヲ備付クヘク新興部民ヨリ寄附金ヲ強制シツツアリ

三、長津江水電ハ電力ヲ咸北、清津、羅津、會寧方面及西餘地方ニ送電スヘク計畫中ナリ

四、興南望素會社ニ於テハ日蘇關係ノ急迫化ニ伴ヒ火藥、カ^ハパイト其ノ他軍需品製造工場ヲ急設増置シ盛ニ軍需品製造ニ努力中ナリ

等ノ報告資料ヲ授ケ昭和十年五月下旬本籍地出發密ニ入露

セシメタリ

- (2) 李翰彬ハ李遜鎬トノ協議ニ基キ昭和十年八月頃迄只管行動ヲ慎ミ努メテ外出ヲ避ケツツ自宅ニ於テ無爲徒食シ居リタルヲ斯ル因遁的行動ハ革命闘士ノ採ラサル處ニシテ且ツコミンテルン本部ノ特命ニ背クモノナリト思惟シ焦慮シツツアリシカ昭和十一年二月中旬頃ヨリ徐々ニ行動ヲ開始シ不取敢居里思想犯前科者李徹城ヲ獲得スヘク策動シタルモ失敗ニ歸シタルヲ以テ續イテ居里韓熙智ヲ獲得シタルヲ以テ之等ノ分子ヲ教養訓練シテ將來平壤ニ派遣シ革命組織ヲ完成並特命事業ノ遂行スヘク專念シツツアリタルカ

- (3) 更ニ昭和十一年五月頃ニ至リ李翰彬、李遜鎬協議ノ上李翰

(16)

彬ハ本籍地ニ於テ引續キ活動不日平壤ニ派遣スヘキ闘士ノ養成ニ努メ李遜鎬ハ與南ニ進出シテ同志ヲ獲得赤色勞働組合組織工作ニ従事スルト共ニ一層軍事上重要ナル事項ノ探查蒐集ニ當ルヘク申合セ其決定ニ基キ李遜鎬ハ本年五月與南ニ進出一戸ヲ構ヘ爾來積極的活動ヲ開始シツツアリシカ

(4) 本年八月下旬郷里ニ於テ活動中ノ李翰彬ノ許ニ氏名不詳ノ一鮮人來訪某同志ノ依頼ニ依ル旨ヲ告ケ密書ヲ携行シタルカ其内容ハ暗號ニテ大要

「君ハ平壤ニ於テ相當活動セル旨報告アリ同地ニ於テ連絡セムトシタルモ所在判明セス且ツ在壤ノ形跡ナキ爲メ或ハ事業ヲ中絶歸郷セルモノニ非ラスヤト認メ茲ニレポートヲ派遣セリ使

命地ヲ放擲セル理由如何」

トノ詰問書ナリシヲ以テ李翰彬ハ直チニ「平壤ニ於テ事業ヲ開始セルモ資金缺乏ト且土地不案内ノ爲失敗セリ仍テ再ヒ平壤ニ進出使命ヲ全フスヘク既ニ革命闘士ヲ獲得目下教養中ニシテ資金調達次第同地ニ潛行スヘシ」トノ暗號回答ヲ手交シタルカ越ヘテ九月上旬頃再ヒレボ來訪「土地不案内等ニ依ル事業失敗ハ一應同情スルモ理由ニ依リ任務地ヲ放擲スルカ如キハ怠慢ナリ必要ニ依リ事業並資金援助モ行フヘキニ付一應事業ノ失敗狀況報告ノ爲メ船便ニテ羅津ニ來レ」

トノ密令ナリシヲ以テ此ノ同ハ口頭ニテ承諾ノ旨ヲ告ケタル

カ其ノ後九月三十日檢舉セラレタル爲連絡スルニ至ラサリシ旨申述セルヲ以テ右レボノ派遣者ハ何人ナルヤヲ嚴重追及シタルニ當初言ヲ左右ニ托シ容易ニ自供セサリシモ最後ニ「レボ―ターニハ入鮮ニ際シヨミシテルンヨリ與ヘラレタル自己ノ鮮内ニ於ケル變名崔守日ヲ使用セルト自分ノ本籍地ヲ知ル者ハ共產大學當時ノ崔成宇、金鼎夏及通譯フバンノ外絶對他ニ無シト思料セラルルヲ以テ右三名中何人カカ連絡ノ爲入鮮シ居ルモノナルヘシ」ト陳述シタルカ偶々別途同道ニ於テ取調中ノ洪原郡生レ共大出身軍事スハイ露名ヂユウシシコト金珠極ノ供述ト相通スルモノアリ彼是綜合シテ右入鮮者ハフバント認メ關係道連絡ノ

下ニ極力捜査シタルモ遂ニ判明スルニ至ラザリシモ右兩名共
入鮮後ノ行動未タ完全ニ清算スルニ至ラス追及ノ余地アリト
思料嚴重取調續行中ナリ

二、金珠極ノ取調狀況

1. 本籍別名氏名年齢

本籍 咸鏡南道洪原郡洪原面壯亭里四五

要注 李榮郁又ハ乙鳳コト 金 珠 極

當三十三年

2. 經歷ノ大要

本名ハ頭書本籍地ニ出生幼時ヨリ里内書堂ニ於テ漢學ヲ修メ長シテ農業ニ從事ノ傍ラ十六歳頃ヨリ赤色少年會ニ加入昭和二年洪原赤色労働組合執行委員長都相尙ノ指導感化ヲ受ケ漸次思想左傾化シ同組書記ヨリ執行委員ニ昇格更ニ洪原共產青年同盟執行委員ニ舉ケラレ革命的左翼運動ニ専念スルニ至リタルカ將來有爲ノ革命

關士タルニハ須ク入露共產大學ヲ學ブノ外ナシト決意シ遂ニ昭和四年十月本籍地ヲ出發スルニ至レリ

3 入露ノ狀況

共產大學入學ヲ決意セル本名ハ其管入露ノ機會ヲ窺ヒツツアリシカ偶々昭和四年十月初旬同郷出身共產主義者金仁極（本名ハ其ノ後共大卒業入鮮シ治維法違反ニテ目下咸興刑務所ニ服役中）ノ紹介ニ依リ當時第二次朝鮮共產黨事件ニテ服役出獄シ京城ニ居住中ナリシ同郷出身蔡奎恒ニ會見シ年來ノ希望ヲ述ヘテ共大入學ノ幹旋方懇請シタル處蔡奎恒ハ「金仁極モ豫テ入露ヲ熱望シ居レルヲ以テ同人ト共ニ入露共產大學ニ入學シ主義ノ研究ヲ遂ケテ入鮮朝鮮革命運動ノ爲メ活動スヘシ」トテ入露ノ順路、暗號等ヲ教示セ

ラレタルヲ以テ直チニ金仁極ト目的の遂行ノ協働ヲ達セタルカ兩名
 同時ニ出發スルハ他人ニ怪シマルル虞アリトシ相前後シテ郷里脱
 出ノコトニ申合セ本名ハ金仁極ヨリ二日間遅レ同年十月初旬旅費
 二十圓ヲ携帶鐵路清津ニ赴キ同地ヨリ海路雄基ニ到リ同地ニ於テ
 蘇聯ニ密航スヘク便船ヲ物色シタルモ目的ヲ達セス已ムナク陸路
 龍硯洞ヲ經テ滿洲國ニ入り夜陰密ニ越境シタルカヘーダキーニ於
 テゲ、ペ、ウ員ニ逮捕セラレ浦鹽中央本部ニ押送一露人ノ取調ヘ
 ヲ受ケタル際蔡奎恒ノ教示セル暗號ヲ述ヘテ難ナクパスシ露貨四
 十留及莫斯科迄ノ切符ヲ交付サレ直チニ出發莫斯科ニ到着セリ

ㄥ 共產大學入學

莫斯科ニ到着スルヤ一露人ノ出迎ヲ受ケ自動車ニテヨミンテルン

本部ニ同行サレ同所ニ於テ當時共大本科三年生タリシ金鑄盤（本名ハ第一次太勞事件ニ連坐目下咸興刑務所ニ服役中）ノ通譯ニテ本籍、住所、氏名、年齢、暗號紹介者ノ氏名鮮内ニ於ケル闘争經歷等ノ訊問ヲ受ケ約二週間後（即チ昭和四年十一月下旬）東方勞力者共産大學豫科ニ入學ヲ許サレ同時ニヂュミシナル露名ヲ冠サレタルカ本名ヨリ二日前郷里ヲ出發セル金仁極ハ既ニ入露シ露名ヌペートプト呼ハレ同大學豫科ニ入學シ居リタリ

5. 共産大學入學後ノ狀況

金珠極ノ入學セル當時（昭和四年十一月）同大學ニ在籍セル朝鮮人學生ハ

(一) 豫科生

(二) 本科一年

カール

(鮮名不詳)

ドロー

(鮮名不詳)

ミロノ

鄭在達

マルクス

金壽昌

スペート

金仁極

オルラー

吳琪燮

イワノ

張奎燮

イコチ

金致坤

カナロ

金鍾烈

ロバチ

朴世榮

0411

(三) 本科二年

グーロフ	林	珉	鎬
ゲーニン	高	景	仁
グルヤーノフ	金		園
スタホフスキー	金	承	勳
カビロピツチ	柳	一	根
ブラーソフ	金	元	黙
チヤノーバ	金	必	壽
ヤノフスキー	幸		順
チナメートフ	尹	基	鉉
スターノフ			

(銚名不詳)

四

(五) 本科学研究生

セーペロフ

林

寛

建

ミナエバ

朱

岳

ホバン

金

鶴

盤

(四) 本科三年

パツクリン

朴

昌

斌

イワノフ

金

越

星

ブラーキン

洪

維

均

ワシリビツヂ

韓

士

斌

マヤニーバ

金

祚

伊

アニソーフ

金

福

萬

朴 三 守 邦 明

韓 東 翊

金 東 雨

等ニシテ本名ハ昭和五年本科一年ニ進級昭和八年本科ヲ卒業シタルカ其間同大學ニ入學シ來レル

(昭和五年ヨリ從來ノ豫科制度ヲ廢シ速成科ヲ新設ス)

(昭和六年速成科一年)

チエリニヨフ 朱 寧 河

マンチエリ 孫 明 龍

クルリーモフ 權 榮 台

ニリーシ 姜 顯 一

カシモバ

崔

朴

順

ラノメトフ

魏

善

煥

(二) 昭和七年速成科一年

カピツーリン

魏

基

勳

(三) 昭和八年速成科(準備學生)

ペツトナー

李

遜

鎬

ホーエン

李

翰

彬

チヨイミン

李

進

鎬

等ニシテ右大學ニ於ケル教授科目ハ本科各學年ヲ通シ

一、 コミンテルン史

一、 露西亞共產黨史

0415

- 一、プロワインテルン史
- 一、政治經濟學
- 一、經濟地理
- 一、支那革命史
- 一、蘇建設史
- 一、ソビエツト經濟
- 一、朝鮮問題
- 一、レーニン主義
- (イ) 農民問題
- (ロ) 殖民地問題
- (ハ) 民族問題

(三) 帝國主義

(四) プロレタリア獨裁

(五) 組織問題

一、軍事學

一、唯物辨證法

等ニシテ就中軍事學ハ西歷一千九百三十二年九月及同年十一月在莫斯科ヨミシンテルン本部ニ於テ開催セル第十二回及十三回ブレヂム會議ノ決議ニ基ク帝國主義戰爭ノ急迫セル現實性ニ鑑ミ翌昭和八年度ヨリ共產大學各科ヲ通シ新設セラレタルモノニシテ本名等ハ赤衛軍大佐クイマ教官ヨリ（朝鮮人ヲバンノ通譯ニテ）只管軍事學ヲ教授セラレタルカ主ナル事項ハ

- (一) 日本、米國、中國、佛蘭西及ソビエト等各國ノ軍隊編成狀況及其優劣ノ差異
- (二) 毒瓦斯ノ種類並其威力
- (三) 飛行機ノ種別及其性能
- (四) 水雷ノ種類性能
- (五) 銃砲ノ種類及其性能
- (六) タンク及装甲車ノ種類及性能
- (七) 各種工場ト軍需品製造關係
- (八) 無線電信電話及普通電信電話ノ軍事上ノ價值
- (九) 列車船舶ニ依ル軍需品ノ輸送方法
- (十) 其他軍事上ノ必要ナル事項

等ニシテ特ニ滿洲事變勃發當時ニ於ケル共產主義者ノ失敗ニ鑑ミ
クローマ教官ヨリ

「滿洲事變勃發ニ際シ日本、朝鮮、中國内ノ同志ハ相當活潑ナル
反戦闘争ヲ敢行シタルモ多數ハ軍事ニ關スル智識ニ乏シク折角ノ
運動モ遂ニ失敗ニ歸シタルヲ以テ之ニ鑑ミ此後ノ共產主義者ハ組
織事業ト併行シ常ニ軍事上ノ機密ヲ調査シ且反戦闘争ヲ強化スル
ト共ニ萬一對蘇開戦ノ場合ハ組織員ヲ總動員シテ軍隊並軍需品ノ
輸送妨害、軍需品工場並電信電話ノ破壊等總有反戦闘争ヲ起シテ
對敵軍隊ノ敗戦ヲ期セサルヘカラス」ト強調教授セラレタリ

6. 入 鮮

昭和八年卒業後同年九月共大秘密部ノ指令ニ依リウセイルサヤ休

養所ニ至リ當時同地ニ於テ靜養中ナリシ太平洋勞働組合浦鹽連絡部員共產學博士崔成宇ト會見シタルカ同人ヨリ

「汝ハ之ヨリ入鮮シ木浦地方ヲ中心トシテ赤色勞働組合ノ組織工作ヲ行ヒ之ト併行シテ現下日蘇兩國關係ノ急迫セル情勢ニ鑑ミ反戰闘争工作並軍事上重要ナル事項ノ調査任務ニ服スヘシ但シ軍事上ノ問題ニ關シテハ更ニ詳細軍事専門家ヨリ指示サルヘキ筈ナリ萬一事業遂行ト熱誠ヲ缺クカ如キ場合ハヨミシテハ汝ト絶縁スルコトアルヘシ」ト告ケ更ニ入鮮後ノ連絡方法等ニ關シ

「汝ハ入鮮後ハ李榮郁ナル偽名ヲ用ヒテ活動スヘシ必要ニ應シテ時々當方ヨリ連絡員ヲ密派スヘク入鮮旅費及其他詳細ナル指令ハ浦鹽連絡部ニ於テ授クル筈ナリ」

ト稱シ鮮服一着ヲ交附サレタルヲ以テ約一週間同地ニ滞在後更ニ
共大秘密部ニ召還サレ莫斯科トヘタヌカヤ、ウルチアヤ街所在、

オソアピアヒム（通稱國防會）

赤衛軍大佐　　チエツタリン

ヨリ日蘇關係尖銳化セル現下ノ情勢ニ徴シ何時兩國ノ開戦ヲ見ル
ヤモ難計ニ付キ事前工作トシテ入鮮ノ上ハ指命地以外、咸北、清
津ヲ中心トシテ

一 軍需工場ノ種類並其數

一 生産品ノ種類並其數量

一 労働者數

一 動力、電力

一 會率飛行場

(イ) 飛行隊ノ種類

(ロ) 製造修繕ニ從事スル労働者數

等ノ調査ヲ遂ケ調査事項ハ

浦鹽子エントラリウル子ア街、オルカニチアナ

オソアピアヒム（國防會極東支部）

隊長 カナツタ大佐

宛報告スヘシト命セラレ莫斯科ヨリ浦鹽迄ノ切符露貨五十留及
食糧パン二週間分ヲ受ケ莫斯科出發約二週間ヲ經テ浦鹽ニ到着直
チニ太勞連絡部ニ出頭シタルカ同部露人ボツボウヨリ

「入鮮後ノ暗號トシテハ汝ハ（十五日）ト稱スヘシ從ツテ汝ヨリ

(28)

ノ通信ハ勿論當部ヨリノ通信連絡ニモ總テ(十五日)ノ暗號ヲ使
 用スヘク尙當部ヘノ報告連絡ハ總テ自己(ボツボウ)ニ爲スヘシ
 ト命シ朝鮮銀行十圓券ニテ五十圓及浦鹽券セツト間ノ乗船券一枚
 ヲ受ケ同年舊九月十三日出發ボツトニ上陸翌十四日煙秋出發咸
 北對岸ヘイダキヨリ渡船ニテ豆滿江中洲ニ來リ同地ヨリ渡步越
 江シテ慶興郡鳩山農場附近ヨリ入鮮雄基ヨリ自動車ニテ清津ヲ經
 テ鐵路本籍地ニ潛入實家ニ一泊ノ上直チニ京城ニ赴キ不取敢前記
 ボツボウ宛無事入鮮セルノ暗號通信ヲ爲シタリ

7. 入鮮後ノ活動

入鮮後ノ使命地木浦ニ潛入シタル事實ハ認ムルモ同地ニ於ケル活
 動狀況ニ關シテハ容易ニ供述ヲ肯セサルヲ以テ引續キ取調中ナル
 モ

- (一) 昭和九年十月日不詳咸北城津郡出身勞働者自稱朴泰根ヲ獲得シ清津所在朝鮮油脂工場調査報告ヲ齎ラシ入露セシメ
- (二) 昭和十年七月日不詳當時清津ニ於テ就勞中ノ管下北青郡出身自稱申大鉸ヲ獲得清津漁港各工場調査報告ヲ托シテ入露セシメ
- (三) 昭和十一年七月當時清津ニ於テ就勞中ノ北青郡出身自稱李芳根ヲ獲得シテ水安工場調査報告ヲ托シ豫テ鮮内軍事諜報機關指導ノ爲メ密カニ入鮮セル露名(ワバン)ハ朝鮮人ニシテ本名等カ共大在學中赤衛軍大佐夕ノ教官ヨリ軍事學ヲ教授サルル際通譯セル者)ニ同行セシメボツボウニ提報スヘク準備中逮捕サレ目的ヲ達セサリシ旨供述シタルカフバン入鮮ノ件ハ前項ノ如ク李連鎬、李翰彬兩名ノ供述ニモ略同様ノモノアリ彼是綜合シテ

(初)テ

同人ノ入鮮ハ事實ト認メ極力追及スルト共ニ本人ノ供述尙信ヲ
置キ難キ點アリ取調續行中ナリ

十月十五日夜陰威北慶興郡土里下流豆滿江々口島嶼ヨリ入露ス
ヘキ筈ナリト申シ立テタルヲ以テ當時直チニ威北ニ同人取押ヘ
方手配シ同道ニ於テ數日ニ亘リ嚴重捜査セラレタルモ同地方ヲ
徘徊シタル形跡ナキ旨回答ニ接シタルヲ以テ引續キ極秘裡ニ内
査中ナルカ本名ハ最近ニ至リ口ヲ緘シテ供述ヲ肯セサルノミナ
ラス前記ノ供述ヲモ秘シ只管處刑ノミ要求スル有様ニシテ事件
進展セサルモ引續キ嚴重取調中ナリ